

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
宇治徳洲会病院増改修工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		Q 建築物の環境品質						2.9	
Q1 室内環境			0.40			3.0			
1 音環境		2.8	0.15	2.6	1.00	2.8			
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	0.40				
1.2 遮音		3.6	0.40	3.0	0.40				
1 開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30				
2 界壁遮音性能		4.0	0.60	3.0	0.30				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20				
1.3 吸音		1.0	0.20	1.0	0.20				
2 温熱環境		2.6	0.35	3.0	1.00	2.6			
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50				
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.57				
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43				
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38						
2.2 温度制御		1.0	0.20	3.0	0.20				
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30				
3 光・視環境		3.0	0.25	4.1	1.00	3.0			
3.1 昼光利用		3.0	0.30	4.2	0.30				
1 昼光率		3.0	0.60	5.0	0.60				
2 方位別開口									
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40				
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30				
1 昼光制御		3.0	1.00	4.0	1.00				
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15				
3.4 照明制御		3.0	0.25	5.0	0.25				
4 空気質環境		3.7	0.25	3.2	1.00	3.6			
4.1 発生源対策		3.0	0.50	3.0	0.63				
1 化学汚染物質		3.0	1.00	3.0	1.00				
4.2 換気		4.0	0.30	3.6	0.38				
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33				
2 自然換気性能				3.0	0.33				
3 取り入れ外気への配慮	給気を南側、排気を北側としている。	5.0	0.50	5.0	0.33				
4.3 運用管理		5.0	0.20						
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御	建物全体を禁煙としている。	5.0	1.00						
Q2 サービス性能			0.30			3.5			
1 機能性		3.9	0.40	4.8	1.00	3.9			
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60				
1 広さ・収納性				5.0	1.00				
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画		3.0	1.00						
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	4.5	0.40				
1 広さ感・景観				5.0	0.50				
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画		4.0	1.00	4.0	0.50				
1.3 維持管理		5.0	0.30						
1 維持管理に配慮した設計		5.0	0.50						
2 維持管理用機能の確保		5.0	0.50						
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30			3.0			
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80						
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	厨房排気ダクト(屋外ダクト含む)にガルバリウムダクトを採用	4.0	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管B、排水管B、消火管Cを採用	4.0	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20						
2.4 信頼性		3.2	0.20						
1 空調・換気設備		3.0	0.20						
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20						
3 電気設備		3.0	0.20						
4 機械・配管支持方法	耐震クラスAとしている。	4.0	0.20						
5 通信・情報設備		3.0	0.20						

3	対応性・更新性		3.4	0.30	3.8	1.00	3.4
	3.1 空間のゆとり		4.6	0.30	4.6	0.50	
	1 階高のゆとり		5.0	0.60	5.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ		4.0	0.40	4.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40		-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)			0.30			2.4
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30		-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性						2.8
LR1	エネルギー			0.40			2.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.66	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化		2.5	0.50		-	2.5
4	効率的運用		1.0	0.20		-	1.0
	集合住宅以外の評価		1.0	1.00		-	
	4.1 モニタリング		-	-		-	
	4.2 運用管理体制		1.0	1.00		-	
	集合住宅の評価					-	
	4.1 モニタリング					-	
	4.2 運用管理体制					-	
LR2	資源・マテリアル			0.30			2.7
1	水資源保護		3.0	0.20		-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40		-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60		-	2.6
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20		-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20		-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		4.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
	1 消火剤		-	-		-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
	3 冷媒	CO2冷媒冷凍機	3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境			0.30			3.2
1	地球温暖化への配慮		3.3	0.33		-	3.3
2	地域環境への配慮		3.0	0.33		-	3.0
	2.1 大気汚染防止		5.0	0.25		-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25		-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
	3 交通負荷抑制		5.0	0.25		-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33		-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1 騒音		3.0	0.33		-	
	2 振動		3.0	0.33		-	
	3 悪臭		3.0	0.33		-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70		-	
	2 砂塵の抑制					-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20		-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70		-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	3.0	3.0		○	○	○	-	○	○	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	9.0		○	○	○	○	○	-	○	○	-	○	○		-
1.3.2 維持管理用機能の確保	11.0		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0		-	-	-	○	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	-	-	-	○	-	-						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	3.0		-	-	1.0	-	-	-	1.0	-	1.0	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	1.0	-	1.0	-	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		2.0	2.0	-	1.0	-	-	-	2.0	-				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	2.0		1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0		1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC 0.5 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム 4.0 屋根 2.0 外壁 2.0 床 2.0 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -
3.1.1 屋光率	屋光率 1.5%
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率 3.3%
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース .0㎡/人 病床 17.5㎡/床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 30.0 VA/㎡
1.2.1 広さ感・景観	天井高 2.7 m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース 0.5% レストスペース 2.0%
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 25 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 20 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 10 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 4.1 m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 20.0%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 4000 N/m2
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 15% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 72% 水平投影面積率 3% 地表面対策面積率 11% 舗装面積率 61%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m 0.66 断熱等性能等級 等級2 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化	BPI/BPI _m 非住宅 0.89 住宅 - 太陽光 18.0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 1430
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 8
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 44% 隣棟間隔指標Rw 0.40 地表面対策面積率 12.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0% 見付面積Sb 40,000㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 200 m 基準高さHb 450 m 緑地 4,450㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡